

◆村上胃腸内科クリニック◆ 村上 信三 先生

所在地：松山市竹原町1丁目6-5 Tel：089-968-1118

開院日：平成25年12月16日

診療内容：内科、消化器内科、内視鏡内科、ピロリ菌除菌、
生活習慣病外来、各種予防接種、健康診断

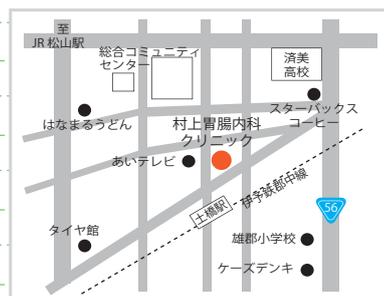
休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 18:00	○	○	-	○	○	-



当院は、当初『村上医院』と命名する予定でしたが、診療内容がわかる名前ということで『村上胃腸内科クリニック』となりました。消化器疾患が得意分野で、胃・大腸の内視鏡や腹部エコーの検査のほか、ピロリ菌の検査・除菌も行っています。このほど内科の専門医資格を取得しました。生活習慣病や風邪など慢性・急性を問わずさまざまな疾患に対し、迅速かつ正確に診断し、患者さんのライフスタイルに合わせた治療を行ってまいります。

現在、週に1回非常勤として松山市民病院の内視鏡室で勤務しています。時々、若い先生に先輩面をしていますが、電子カルテの入力方法など教えていただくことの方が多い状態です。開院当初は、紹介患者さんを自分が主治医で診たいという考えもありましたが、病棟が建て替わり、電子カルテになってシステムもわからないため、全面的にお任せしています。松山市民病院のバックアップ体制に、いつも心より感謝しております。



天体シリーズ Vol.9 “景星鳳凰”

●火の鳥や鳳凰ともいわれる“オリオン座大星雲”

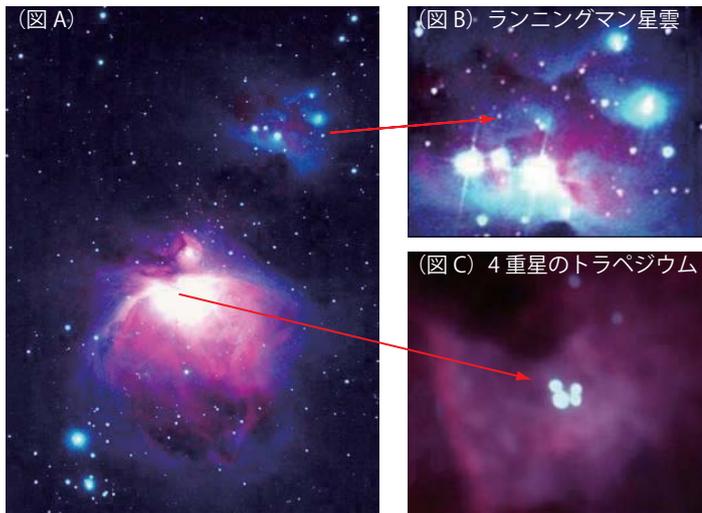


Photo by Yamashita with R200SS & Canon EOS 60D replaced filter & LPS-V3・FF

今年(2017年)は酉年です。天空で“トリ”といえばやはり“オリオン座大星雲(図A)”ですね。ヴェールを纏った火の鳥(フェニックス)とか鳳凰と表されます。真冬の夜空に鎮座するオリオン座の三ツ星(帯)の下方にある小三ツ星(剣)の中央に位置する散光星雲で、地球からの距離は約1600光年、視直径は満月の約2倍です。肉眼では淡い白色のシミのようには見えませんが、天体望遠鏡と天体用改造カメラを用いて撮影すると、赤外線H α 光で大変美しく輝く、真紅の翼が描出されます。一方、白とびしたオリオン座大星雲の中心部分には、露出時間を短縮して撮影すると4重星の“トラペジウム(図C)”を主要な構成メンバーとする非常に高エネルギーの若い星からなる散開星団が描出されます。これらがオリオン座大星雲を輝かしているのです。また、オリオン座大星雲の右上方にある青い星雲は“ランニングマン星雲(図B)”と呼ばれ、よく見るとピンク色の人々が走っている姿が見えてきますね。ところで、私は今回“景星鳳凰”という熟語を引用しました。その意味は聖人や賢人がこの世に現れるという喜ばしいことの前兆のようで、今年こそは平和な年であるように願っています。(写真・文/神経内科: 山下順章)

お知らせ

INFORMATION

多職種連携推進のための研修会



平成28年11月21日(月)、チーム医療を推進し、職種間の理解を深めることを目的とした研修会が行われました。

第1回目となる今回は、愛媛県介護福祉士会会長の井川義伸先生を講師にお招きし、「介護福祉士の役割と専門性」という演題で講演いただきました。当院では昨年より病棟に介護福祉士が配属されており、その役割を知ること、スタッフ間の連携・協働の大切さを再認識することができました。

愛媛ジャーナル

政・経情報誌『月刊愛媛ジャーナル新年号』の“トップに聞く”のコーナーに山本祐司院長のインタビュー記事が掲載されました。創立から現在の病院の歴史や施設、医療サービスの特徴、今後のチャレンジなどが語られています。



当院は敷地内禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願いします。